

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	国際・国内交流推進事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課 経済建設部 観光振興課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業 期間	開始	昭和 ▼ 49 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		国際・国内交流			
施策	2	国際・国内交流の推進			
基本事業	1	交流のひとづくり			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民及び姉妹都市														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市と姉妹都市の交流を推進することで、市民同士の相互理解・国際理解を深め、両市の友好関係を強化することを目指す。														
事業計画	26年度に何を計画していたか	鳴門市・リュネブルク市姉妹都市盟約締結40周年を迎え、年間を通じて記念行事を行う： ・第20回リュネブルク市親善使節団を迎える。式典には、市民交流の部を設け、リュネブルク市民と多くの鳴門市民が直接交流できる機会を創出する。 ・リュネブルク市からの青少年受け入れ ・40周年記念誌の発行 ・両市の青少年の絵画募集・展示 ・展示会、国際交流員によるドイツ紹介イベント等														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>57</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	55	55	57	55	60	%
指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位										
使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	55	55	57	55	60	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	60人の第20回リュネブルク市親善使節団を迎え、日独市民交流会や40周年記念式典など滞在プログラムをとおして両市民の友好交流の場を創出した。また、市内の中学2校・高校1校の協力を得て、リュネブルク市青少年のホームステイや授業参加が実現し、若い世代の交流も深まった。その他、年間を通じて姉妹都市盟約締結40周年記念事業として下記の事業を実施し、広く周知することにより、交流に対する市民の関心を高めることにつながった。 ①広報なると連載「リュネブルク魅力通信」 ②国際交流員ロバートのミステリーバスツアーinなんと ③40周年記念オリジナルフレーム切手の発行 ④40周年記念講演会「日本から見たドイツ、ドイツから見た日本」 ⑤ドキュメンタリーフィルム「敵が友になるときー日本のドイツ人捕虜収容所」上映会 ⑥青少年の絵画交流 ⑦40周年記念誌の発行 ⑧市内民間団体・事業所による40周年記念事業の募集、実施。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 親善使節団参加者数 リュ市／鳴門市	36	60	40	35	35	人
	2 使節団への学生の参加者数 リュ市／鳴門市	8	12	10	12	12	人
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	使節団新規参加者の割合 リュ市／鳴門市	71	67	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		121.8	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり		(千円)	

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	1,500	2,513	4,013
		全体予算額		0	0	0	1,500	2,513	4,013
		決算額		0	0	0	962	2,167	3,129
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)	総人件費		総事業費		
		2.5	0.0	17,195	20,324				

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	2,299	3,129	2,911	1,566	2,911
	うち一般財源	2,099	2,167	2,911	1,566	2,911
	人件費	9,776	17,195	10,317	10,317	10,317
	総事業費	12,075	20,324	13,228	11,883	13,228

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		40周年という節目を活用し、年間を通じて、姉妹都市交流に触れる場を創出し、同事業について広く市民に周知を図った。
	効率性	A:効率的だった		関連映画の上映や記念講演会など成人を対象にした事業だけでなく、絵画交流や学校訪問等青少年を対象にした事業を実施したことにより、幅広い年代の市民が交流に参加することができた。また、趣旨に賛同した団体や事業所による記念事業も実施され、年間を通じて交流の機運を高めることにつながった。
②成果に対する評価	指標名	使節団新規参加者の割合リュウ市／鳴門市		節目の年であったこともあり、リュウネブルク市から過去最大となる使節団が鳴門市を訪問した。初めて青少年が12人参加したことから新規参加者の割合も増加した。
	目標	55	%	
	実績	67	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		リュウネブルク市から過去最大の親善使節団が来鳴し、10代から80代までの多くの両市民が交流を深めることができた。また、さまざまな事業の実施により姉妹都市交流について広く周知を図ることにつながった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	40年という節目を迎え、両市ともに交流の機運が高まったが、今後はこれまで一線で交流に参加していた市民の高齢化が懸念される。そのため、使節団の青少年参加については、両市ともに姉妹都市交流にとって重要であると考えており、継続の方向で進められている。今後は、青年・壮年期の市民の参加についても検討する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	第21回鳴門市姉妹都市親善使節団を派遣し、リュウネブルク市民と現地で交流を深める。団員の中には、12人の中高生が含まれ、現地でホームステイ・学校訪問を行い、交流を深める。青少年の使節団参加はH25に続いて2回目で、派遣人数を前回の8人から12人に拡充した。			
	H28年度	第21回リュウネブルク市親善使節団を迎え、市民との交流を深める。青少年団員が参加する場合は、H26同様、市内の学校に協力を求め、ホームステイや学校訪問を行い、市内の生徒がドイツ人生徒と交流する機会を設ける。			